

県主導による

病児保育事業の広域利用について

山梨県の
広報紙 **ふれあい** 5月号
vol.157

**病児保育施設の広域利用が
4月から始まりました!**

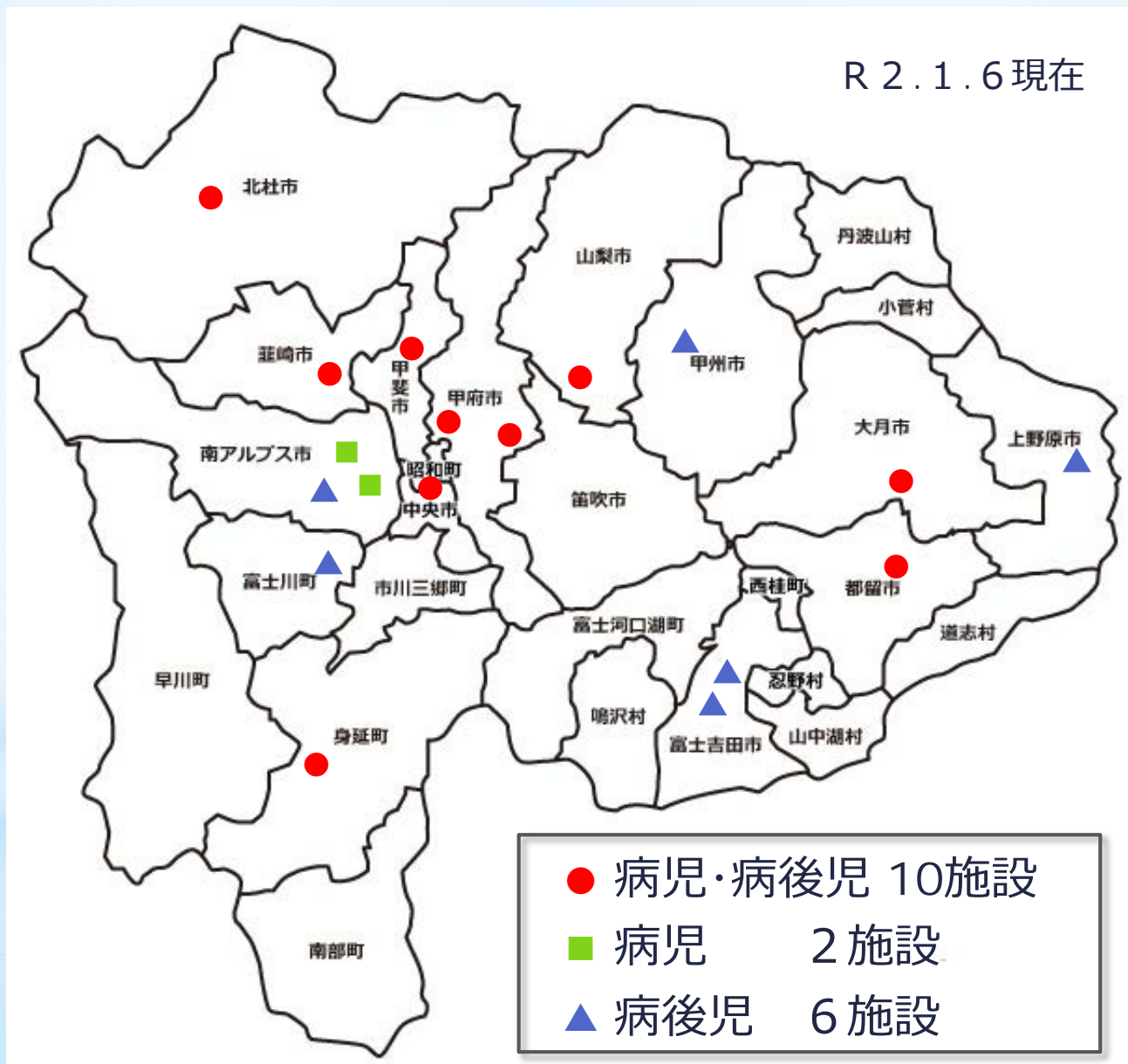
子育てと仕事の両立を支援するため、甲府市と周辺5市町では、4月から病児保育施設の広域利用を先行してスタートさせました。県では今後、県下全域での広域利用を進め、「日本一健やかに子どもを育む山梨」の一層の充実を図っています。

■病児保育施設とは
病児または病児が感染の恐れがあるため保育所に預けられない子どもが、病院や保育園に併設された専用スペースで、保育士や看護師に一時的に預けられる施設です。



山梨県子育て支援局
子育て政策課

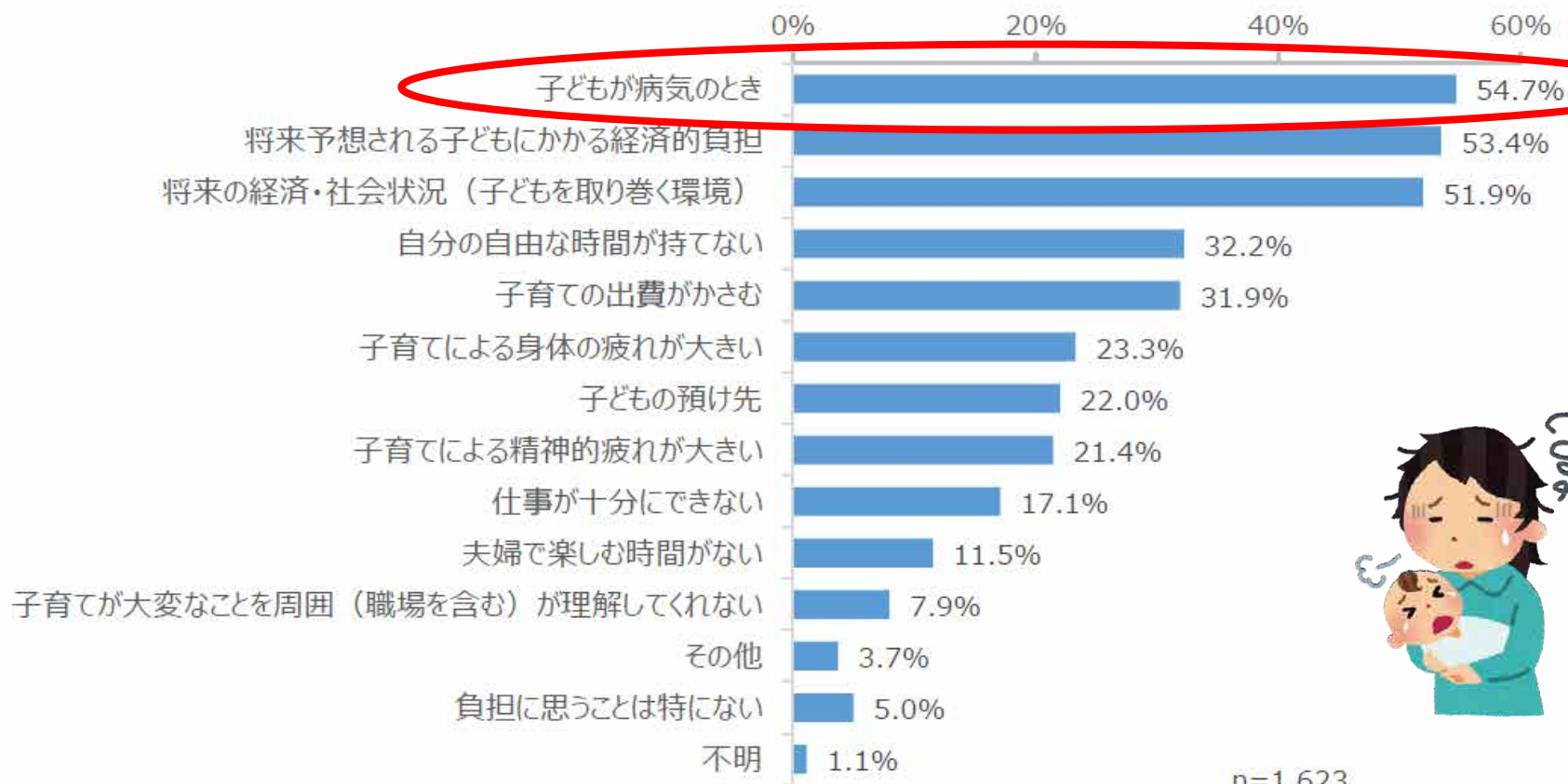
■ 県内の病児保育施設



■ 政策立案のきっかけ

1 子育てをされていて、不安・負担に思うことは？

問23：子育て中の負担・不安（MA）

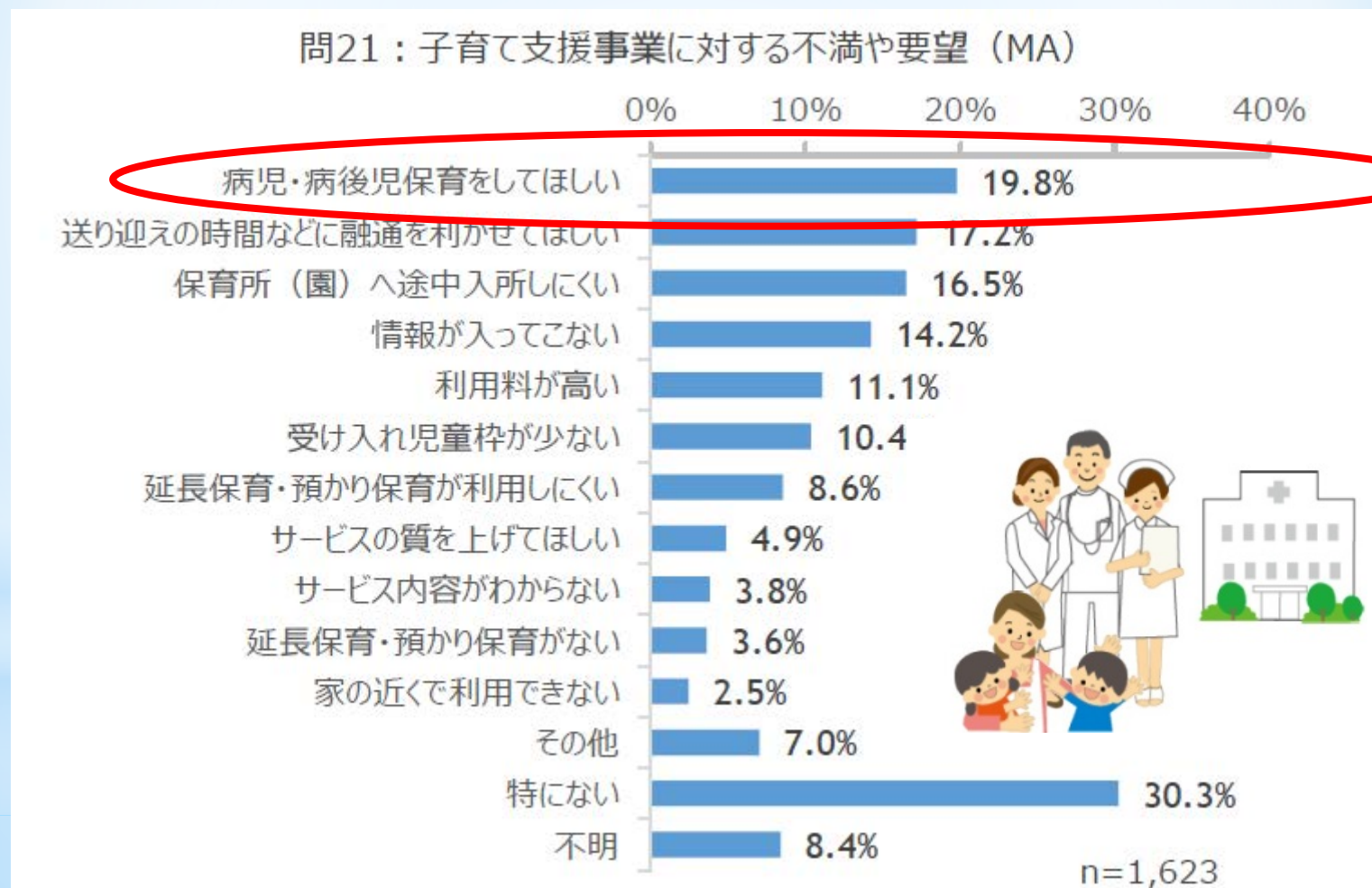


n=1,623

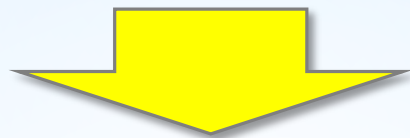


■ 政策立案のきっかけ

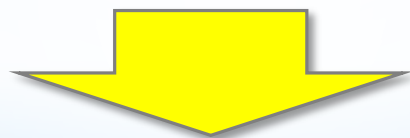
2 どのような「子育て支援」を望んでいるか？



「病児保育」を求める声が最も多い！！



病児保育が普及しないのは、
何が原因か？



答えは「現場」にあるはず！！

■ 病児保育施設を訪問して分かったこと



県内全ての病児保育施設が赤字であること
(1施設あたり、平均約400万円の赤字)

<赤字の何が問題なのか？>

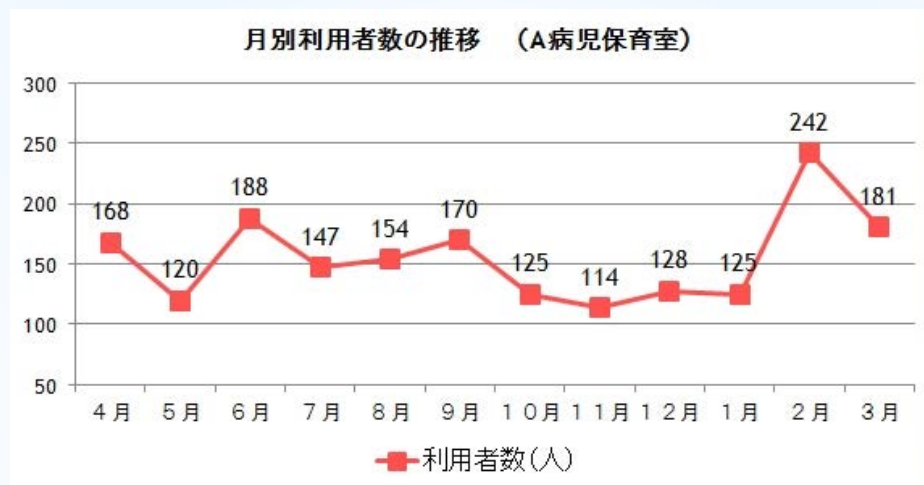
- ① 誰も「病児保育」を始めようとは
思わなくなること
- ② 病児保育事業の継続が難しくなること



「安定した運営」に向けた仕組みづくりが必要！

赤字となる構造的要因 ①

- ・ 利用者数の「季節変動」が大きい
(インフルエンザが流行する冬期の利用が多い)



- ・ 日々のキャンセル率が高い (予約全体の約25%)



要員計画が立てづらく、人件費が高止まり傾向

赤字となる構造的要因 ②

- ・ 病児保育の実施主体は「市町村」
- ・ 施設の「運営費」は所在市町村が負担
- ・ 所在市町村以外の住民の利用（広域的な利用）
があった場合のルールが存在しない
(制度上、市町村単位での利用を想定)



施設側の負担となり、経営を圧迫

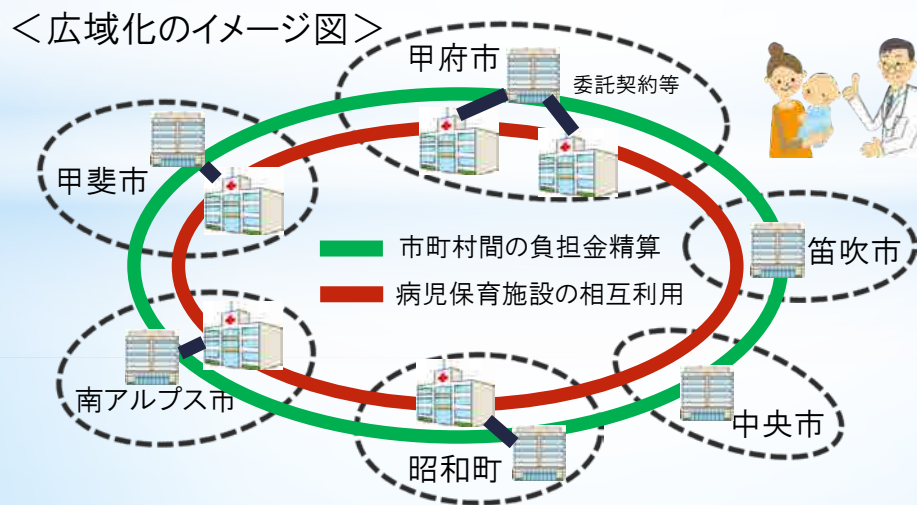
- ・ 広域利用のルール確立が課題
- ・ 町や村が単独で病児保育施設を設置するのは困難



広域的な観点から、県が積極的に関与！！
県主導による関係市町村との協議

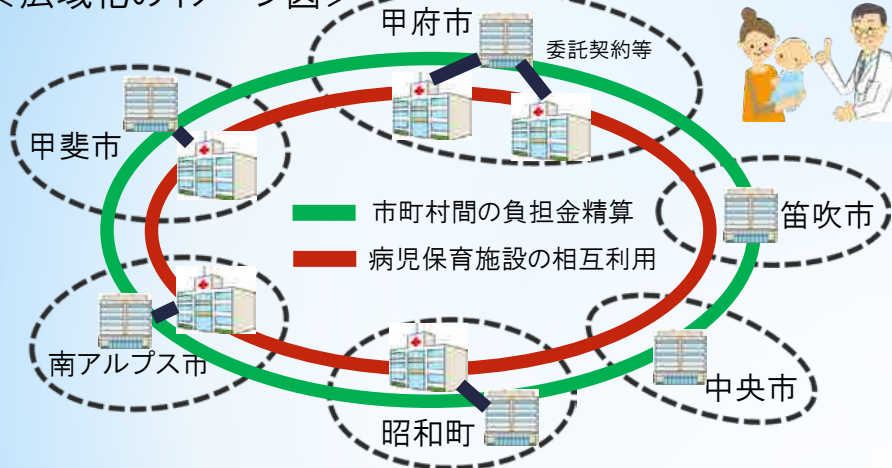


病児保育の広域利用に関する協定を締結
(甲府市を中心とする6市町による先行実施 (H29.4~))

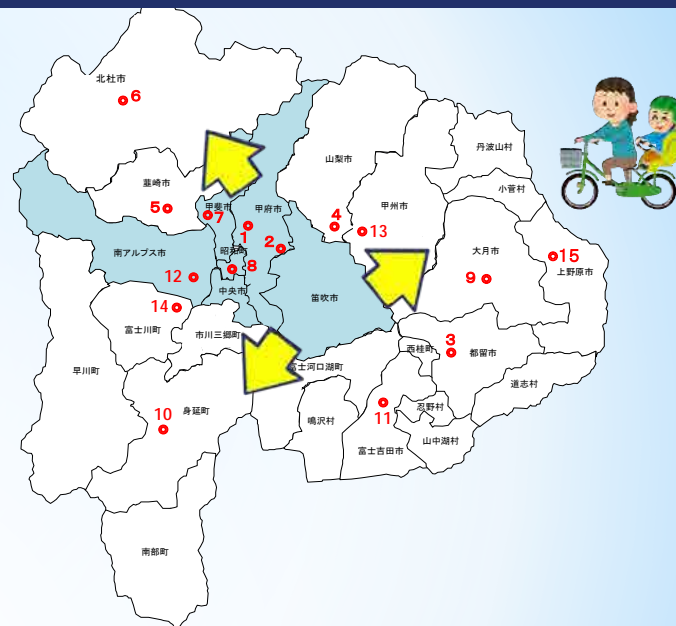


甲府圏域における先行実施（H29～）

＜広域化のイメージ図＞



県下全域での実施（H30～）



広域化による効果

- ◎ 市町村の区域を超えた施設利用 ⇒ 子育て世帯の利便性向上
- ◎ 市町村間の相互利用による平準化 ⇒ 安定した施設運営
- ◎ 利用児童数に応じた市町村間の精算 ⇒ 市町村負担の公平化

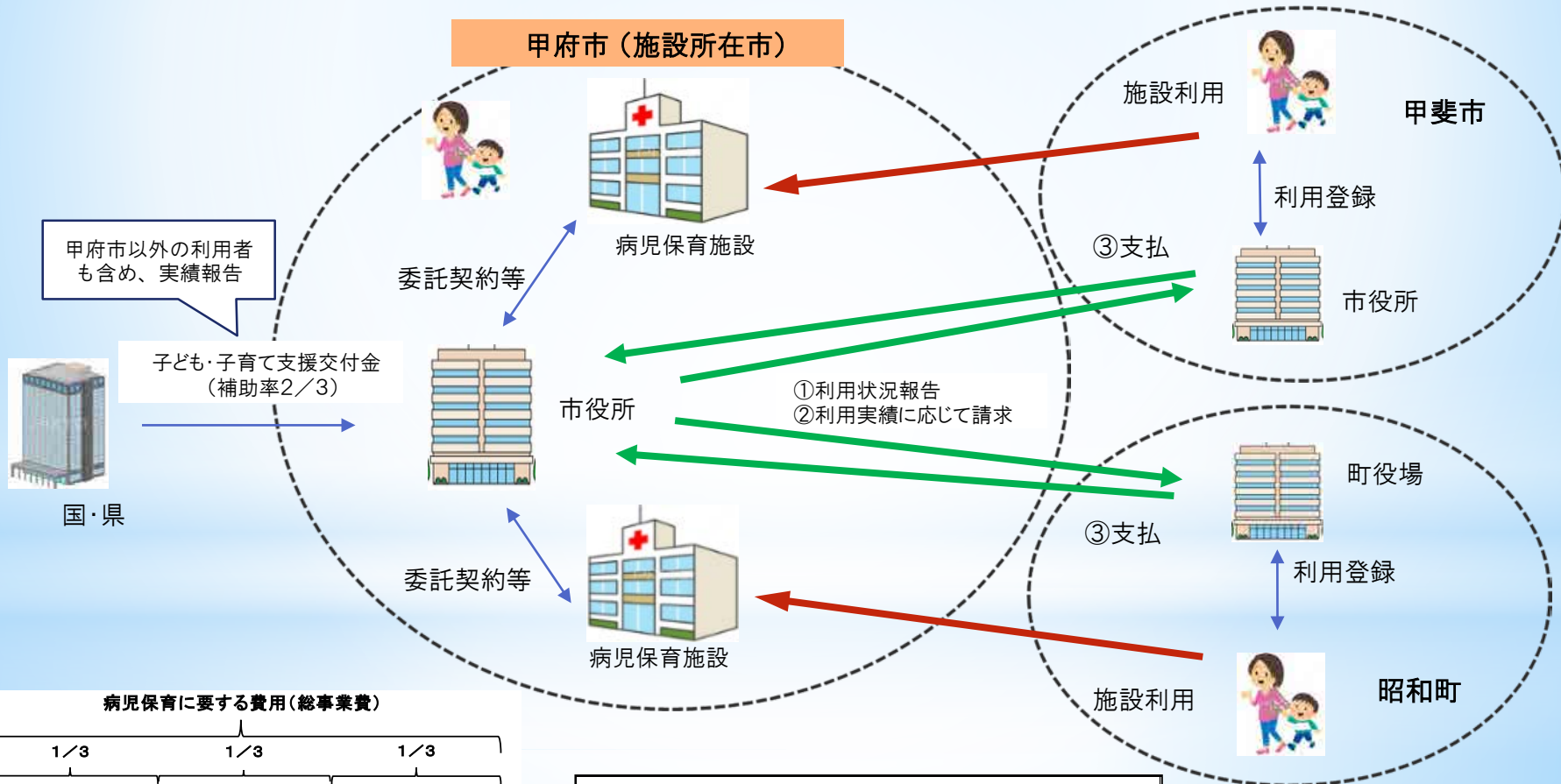
病児保育の提供体制の充実・強化

子育ての不安や負担を軽減し、子育て世帯の仕事と子育ての両立を支援

病児保育に係る相互利用について(イメージ図)

協定による負担金の流れ(甲府市の例)

■ 病児保育施設の相互利用
 ■ 市町村間の負担金精算
 ※精算は「施設」ごとに行う



病児保育に要する費用(総事業費)

1/3	1/3	1/3
国	県	甲府市
		甲斐市 昭和町 市 町

利用児童数に応じて按分

$$\text{負担額の算出} = \text{補助金収入} \times \frac{1}{3} \times \frac{\text{当該市町村利用児童数}}{\text{延利用児童数}}$$

山梨県内の病児保育施設一覧表

令和2年1月6日現在

病児・病後児保育施設						
NO	市町村	施設名 (所在地)	対象児童	開所時間	定員 人	利用料金 円
1	甲府市	甲州聖愛ハッピークリニック 病児・病後児保育室「パンピ甲府東」 (甲府市上阿原町487-1)	0歳～ 小学6年生	月～金 8:30～20:00	20	市内 2,000 市外 2,500
		こどもの森クリニック 病児・病後児保育室「パンピ甲府西」 (甲府市富竹1-3-10)	0歳～ 小学6年生	月～金 8:30～18:30	14	市内 2,000 市外 2,500
3	都留市	武井クリニック 病児保育室「なかよし」 (都留市法能670)	生後4か月～ 小学6年生	月～金 8:30～17:30	6	市内 2,000 市外 2,500
4	山梨市	山梨厚生病院 病児・病後児保育所「ひまわり」 (山梨市落合21)	生後6か月～ 小学6年生	月～金 8:15～18:15	4	市内 2,000 市外 2,500
5	大月市	大月市立中央病院 病児・病後児保育室「さくら」 (大月市大月町花咲1225)	生後6か月～ 小学6年生	月～金 8:30～18:00	3	市内 2,000 市外 2,500
6	韮崎市	韮崎市立病院 病児病後児保育所「スマイル」 (韮崎市本町3-5-3)	生後6か月～ 小学6年生	月～金 8:00～18:00	6	市内 1,700 市外 2,500
7	北杜市	北杜市立長坂保育園秋田分園 北杜市立病児病後児保育園 (北杜市長坂町大八田3531)	生後6か月～ 小学6年生	月～金 8:15～18:00	4	市内 2,000 市外 2,500
8	甲斐市	クローバー保育園 病児・病後児保育室「つよば」 (甲斐市竜王新町2117-3)	生後6か月～ 小学6年生	月～金 8:30～17:30	4	市内 2,000 市外 2,500
9	身延町	飯富病院 病児・病後児保育室 (身延町飯富1628)	生後6か月～ 小学6年生	月～金 8:30～18:00	3	市内 2,000 市外 2,500
10	昭和町	げんきキッズクリニック 病児・病後児保育室「ドリーム」 (昭和町河東中島748-1)	0歳～ 小学6年生	月～水・金 8:30～17:00	10	市内 2,000 市外 2,500
計					74	

病児保育施設						
NO	市町村	施設名 (所在地)	対象児童	開所時間	定員 人	利用料金 円
1	南アルプス市	こもれびこどもクリニック 病児保育室「うらら」 (南アルプス市在家塚96-1)	0歳～ 小学6年生	月・火・木・金 8:30～17:30 水 8:30～12:30	6	市内 2,000 市外 2,500
		企業主導型保育所みかげの森 病児保育室「にこたす」 (南アルプス市野牛島1828-63)	生後6か月～ 小学6年生	月～金 8:30～17:30 土 8:30～12:30	6	2,000
計					12	

病後児保育施設						
NO	市町村	施設名 (所在地)	対象児童	開所時間	定員 人	利用料金 円
1	富士吉田市	富士吉田市立第五保育園 病後児保育室「たんぼぼ」 (富士吉田市新屋1236)	0歳～ 小学6年生	月～金 8:30～16:30	3	市内 2,000 市外 2,500
		富士吉田市立第七保育園 病後児保育室「どんぐり」 (富士吉田市小明見4-9-1)	0歳～ 小学6年生	月～土 8:30～16:30	3	市内 2,000 市外 2,500
3	南アルプス市	さくらんぼ保育園 病後児保育室「つぼみ」 (南アルプス市桃園337-30)	0歳～ 小学6年生	月～金 8:30～17:30	4	市内 2,000 市外 2,500
4	上野原市	上野原市立上野原こども園 病後児保育室「なかよし」 (上野原市上野原3195)	1歳～ 小学6年生	月～金 8:30～16:30	3	1日(市内) 2,000 半日(市内) 1,000 1日(市外) 2,500 半日(市外) 1,250
5	甲州市	千野保育園 病後児保育室「さくらんぼ」 (甲州市塩山千野3653)	0歳～ 小学6年生	月～金 8:00～17:30	3	市内 2,000 市外 2,500
6	富士川町	富士川病院 病後児保育室 (富士川町飯沢182-2)	生後6か月～ 小学6年生	月～金 8:30～17:30	3	市内 2,000 市外 2,500
計					19	

○市外の利用者負担金を、2,500円に統一（企業主導型保育所設置の病児保育施設を除く）

○対象児童の年齢を、小学6年生までに統一

さらに、

「やまなし子育てネット」から

- ・ 市町村への「**利用登録**」の申請
- ・ 病児保育施設の「**空き状況**」の確認

QRコード(スマホ版)



Yamanashi Childcare Network
やまなし子育てネット
スマイルリンク

文字サイズ 拡大 標準 縮小 色合い 標準 1 2 3 ふりがな 表示

サイト内検索 Google™カスタム検索 検索 ▶ サイトマップ ▶ お問い合わせ ▶ Foreign language

探す 病児保育施設
各施設の空き状況や施設情報を掲載!

子育てなんでも情報館

全国初
県内どこでも病児・病後児保育が利用できるようになりました。

START ▶ ◀ ▶

年齢・対象から探す 目的から探す 県からのお知らせ お悩み相談広場 役立ちリンク

健康科学大学 産前産後ケアセンター
(外部サイトへリンク)

山梨県では「**病児保育事業の広域利用**」を実現し、住民の利便性は向上しました。

しかし、課題は・・・

- ・ まだまだ経営的には厳しい状況。
- ・ 保育士、看護師の確保。
- ・ 人件費以外に設備更新などの経費も必要。
- ・ 障害児など特別な支援が必要な子どもを預かる場合の職員の加配。



**引き続き、基準額の増加など
国の積極的な支援をお願いいたします！**